

# 『法華経』 Gilgit 写本・Kashgar 写本・ Farhād-Bēg 写本の新翻刻研究： XV “Tathāgatāyuspramāṇa-parivartaḥ”

伊久間洋光 (代表)

笠松 直 庄司 史生 鈴木 健太  
玉井 達士 張 美僑 宮崎 展昌

〈概要〉『法華経』梵文写本にはギルギット・ネパール系と中央アジア系の2系統がある。しかし今日まで学界で用いられている所謂ケルン・南条校訂本は両系統の混交したテキストであり、その間の適正な区別は長く課題とされてきた。今後の梵文『法華経』研究には両系統それぞれの校訂本が求められる。本研究では『法華経』新校訂本の作成に向け、Gilgit 写本・Kashgar 写本・Farhād-Bēg 写本の精密画像に基づく新翻刻を提示する。今年度は Farhād-Bēg 写本に見られる如来寿量品冒頭を公開する。<sup>(1)</sup>

## 1. ケルン・南条本とその問題点

1908–1912年、ヘンドリック・ケルン、南条文雄により『法華経』校訂本（ケルン・南条本）が出版された。これは今日でも学界で標準的に用いられる、最も優れたテキストとなっている。しかし、ケルン・南条本の出版時、南条によるネパール系写本6本に基づく校訂に、ケルンが時に注記なしで中央アジア系写本である Kashgar 写本の読みを採用したことが知られている。<sup>(2)</sup> 法華経梵文写本にはギルギット・ネパール系、中央アジア系の2系統があることから、結果、ケルン・南条本は2系統の混合したテキストとなった。

ケルン・南条本の出版後、荻原雲来と土田勝弥による校訂出版（1934–35年）、ナリナクシャ・ダット（1953年）、ヴァイドヤ（1960年）による校訂出版がなされた。しかしいずれもケルン・南条本に基づく改訂版であり、十分なものではなかった。

## 2. その後の『法華経』写本研究

その後、来るべき『法華経』新校訂本の作成のために、各写本の正確な翻刻が必要とされた。1977–1982年、立正大学法華経文化研究所により、梵文法華経写本集成の出版がなされた。これは31種の法華経写本と3種の刊本を対照した労作であり、その後の『法華経』写本研究資料の基礎となった。

また1983年、戸田宏文教授は、後述する Kashgar 写本・Farhād-Bēg 写本を含む『法華経』中央アジア写本のローマナイズを出版し、当該分野の研究の基礎を構築した。また同教授は『法華経』ネパール系貝葉写本のローマナイズも精力的に行った。さらに小槻晴明氏・水船教義氏は戸田教授の業績を引き継ぎ、一連の『法華経』ネパール写本の翻刻を行っている。また1997年、蔣忠新教授によって中央アジア系「旅順本」の写真版とローマナイズ（LMS(1)）が出版された。

後述する Gilgit 写本については、1931年に発見されたもの（D2）は渡辺照宏教授により1972、1975年にローマナイズされた。また別系統の Gilgit 写本を、戸田教授（D3、1988年）、von Hinüber 教授（D4、1982年）がそれぞれローマナイズしている。

### 3. 『法華経』梵文写本の2系統

上述のように、『法華経』梵文写本には、読みの異なるギルギット・ネパール系と中央アジア系の2系統がある。

ネパール系写本は11世紀以降の筆写であり、伝世写本として殆どが完本の形で伝えられている。チベットで筆写された写本もこの系統に属する。ギルギット・ネパール系の古本である Gilgit 写本はカシュミール地方ギルギットの出土であり、7－8世紀に遡る。また近年、アフガニスタンで発見された『法華経』写本もこの Gilgit 写本に近いと指摘されている。

一方、中央アジア系写本は、出土写本であるため多くが断片の形で残されている。そのうち、残された分量の多いものは、カーダリク出土の Kashgar 本およびカーダリク近郊 Farhād-Bēg 出土の Farhād-Bēg 写本である。

ロシア・サンクトペテルブルクの東洋古文書研究所、大英図書館などに所蔵されている Kashgar 写本(O)は8世紀に遡り、『法華経』全体の9割以上が現存している点で重要である。同写本は、最初に研究した S. F. Oldenburg の名を冠してO本と略称される。

また大英図書館などに所蔵されている Farhād-Bēg 写本(F)は5－6世紀に遡り<sup>(3)</sup>、第11章見宝塔品の始めから第15章如来寿量品の始めまでが現存している。この写本には提婆達多品がないことが指摘されている。

他に、中央アジア系の古写本として、旅順博物館に所蔵されている前述の「旅順本」は5－6世紀に遡る。同写本は大谷探検隊によりコートン周辺で収集され、断簡ではあるが中期インド語形を多く残している点で重要である。

### 4. 辛嶋教授による『法華経』3言語校訂研究

2003－2006年、辛嶋静志教授は『法華経』の3言語（漢訳・チベット語訳・サンスクリット）の校訂研究を行った。同研究において、『法華経』サンスクリットテキストはギルギット・ネ

パール系と中央アジア系の二系統が並記された。即ち、Gilgit 写本を底本としネパール系写本を対照させたギルギット・ネパール系の校訂と、中央アジア系の Kashgar 写本・Farhād-Bēg 写本およびその他の中央アジア写本の新たな翻刻が並記された。

同研究において校訂がなされたのは、安楽行品の全体および従地湧出品の冒頭までである。同研究は非常に精緻なものであり、詳細な注により中期インド語研究としての側面もあった。辛嶋教授による『法華経』全体の校訂が待たれていたが、同教授の逝去により研究は中断された。

## 5. 『法華経』 梵文写本群の高精度画像の公開

1997年より、東洋哲学研究所と創価学会により、「法華経写本シリーズ」(Lotus Sutra Manuscript Series, LMS) の刊行が開始された。同シリーズは『法華経』重要写本のカラー写真複製版とローマ字の出版を目的としており、2012年にはインド省図書館所蔵の Gilgit 写本(LMS(12))、2013年には Kashgar 写本の(LMS(13))、ケルン・南条本のロケーション情報を付した写真版が刊行された。また2006年より、国際敦煌プロジェクト(International Dunhuang Project)のサイトにおいて、創価大学国際仏教学高等研究所より提供された Farhād-Bēg 写本の高精度画像が公開された。

上記の成果により、『法華経』梵文写本研究に新たな局面が開かれた。即ち、従来の『法華経』写本研究が白黒のマイクロフィルムに基づいていたのに対し、高精度写本画像に基づく新たな検討が可能となった。<sup>(4)</sup>

## 6. 河口慧海請来シャル寺本(K')の特異性

2021年および2022年の笠松直の研究により、法華経ネパール系貝葉写本のうち、河口慧海請来シャル寺本(K')の読みが古形を残すことが指摘された。<sup>(5)</sup> 同写本は東洋文庫に所蔵され、11世紀に遡る。古くは辻直四郎教授も同写本と中央アジア系 Kashgar 写本との読みの共通性を指摘している。<sup>(6)</sup>

同写本の属する『法華経』ギルギット・ネパール系写本のうち、古本である Gilgit 写本は完本ではない。笠松の研究により、Gilgit 写本を底本とし、次に古いネパール系貝葉写本のうちで古い読みを残す河口本を主に対照することで、ギルギット・ネパール系の新校訂作成の可能性が齎された。

## 7. 本研究の目的と範囲

本研究は、上記を背景に、『法華経』新校訂に向け、高精度画像に基づき新たに翻刻研究を行うものである。即ち、辛嶋教授の校訂方針に準拠し、『法華経』 Gilgit 写本(D2)・Kashgar 写本・Farhād-bēg 写本の transliteration を提示し、相互の異読を注記する。今年度は Farhād-bēg

写本に見られる如来寿量品冒頭部分を取り扱う。

その際、上記観点に基づき、河口慧海請来シャル寺本(K')の異読を注記する。その他、ケルン・南条本の扱った写本については、同書の異読の注記を引き継いだ。

また竺法護訳『正法華経』、鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』の並行箇所をセクション毎に並記する。両漢訳は大正新修大蔵経のテキストに基づき、句読点を付した。

また『法華経』チベット語訳については、良本であり、基準となるデルゲ版(D)を並記した。<sup>(7)</sup>

## 8. 本稿の役割分担

作業分担として、宮崎展昌・張美僑が竺法護訳・鳩摩羅什訳並行箇所の読み・句読点を提示し、庄司史生・宮崎が『法華経』チベット語訳デルゲ版のロケーションを同定する。さらに鈴木健太・笠松直が文法事項を検討している。

また玉井達士と伊久間洋光が読みの提示・スクライバルエラー修正等を行い、写本プレートと合わせ全員で検討している。なお前書きは伊久間が担当した。また著者名は五十音順に記載した。

本稿は Karashima[2003-2006]を始めとする故辛嶋静志教授の成果に多くを負っている。同教授に満腔の敬意を表するものである。

なお、本研究は JSPS 科研費 JP20H01185 の助成を受けたものである。

## ABBREVIATIONS AND SIGNS<sup>(8)</sup>

A = MS. of the *Saddharmaṃuṇḍarīkasūtra* kept in Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland, London, No. 6.

B = MS. of the *Saddharmaṃuṇḍarīkasūtra* kept in the British Museum, London.

Ca, Cb = MS. of the *Saddharmaṃuṇḍarīkasūtra* kept in University Library, Cambridge, Add. no. 1682, 1683.

D = MS. of the *Dam pa'i chos padma dkar po* in the Derge Kanjur, No. 113, vol. 51.

D1 = Gilgit Manuscript of the *Saddharmaṃuṇḍarīkasūtra* kept in National Archives of India (New Delhi), No 45.

D2 = Gilgit Manuscript of the *Saddharmaṃuṇḍarīkasūtra* kept in National Archives of India (New Delhi), Nos. 44, 47, 49, 50, 52. Facsimile edition: LMS(12).

D3 = Gilgit Manuscript of the *Saddharmaṃuṇḍarīkasūtra* kept in National Archives of India (New Delhi), No.48.

G. Tucci collection (Rome). 20 fols. transliteration: Toda[1988].

Or. 11878B, British Library (London). 7 fols.

M. A. Shah collection (Lahore) 1 fol.

Photomechanically reproduced folio, *Journal Asiatique* (Paris), CCXX (1932), plate between pp. 16-17. One side of 1 fol. only.

D4 = Gilgit Manuscript of the *Saddharmapuṇḍarīkasūtra* kept in Sir Pratap Singh Museum. transliteration: von Hinüber[1982].

Dh. = *Zhengfahuajing* 正法華經, translated by Dharmarakṣa, in: *Taishō* vol. 9, No. 263, pp.63-134.

F = the Sanskrit Manuscript of the *Saddharmapuṇḍarīkasūtra* found in Farhād-Bēg Yailiki, kept in the Oriental and Indian Office Collection, in the British Library.

Edgrton, Frankrin

1953 *Buddhist Hybrid Sanskrit Grammar and Dictionary*, Yale University Press, New Haven.

Ishida, Chikō. 石田智宏

2006 “Hokekyō no bongo shahon hakken·kenkyūshi gaikan” 法華經の梵語写本 発見・研究史概観, *Tōyō bunka kenkyūjo shohō* 東洋文化研究所 所報, 10.

Jiang, Zhongxin. 蔣忠新

1997 *Sanskrit Lotus Sutra Fragments from Lüshun Museum Collection: Facsimile Edition and Romanized Text*, ed. by Jiang Zhongxin, Dailian and Tokyo.

K = MS. of the *Saddharmapuṇḍarīkasūtra* kept in University of Tokyo General Library, No. 414, brought from Nepal by E. Kawaguchi 河口慧海.

K' = MS. of the *Saddharmapuṇḍarīkasūtra* kept in the Tōyō Bunko 東洋文庫, brought from Tibet by E. Kawaguchi 河口慧海. Facsimile edition: Kawaguchi and Ikeda[1926]. transliteration: Toda[1980-1985].

Karashima, Seishi. 辛嶋静志

2003-2006 “A Trilingual Edition of the Lotus Sutra —New editions of the Sanskrit, Tibetan and Chinese versions (1)~(4)”, *Annual Report of the International Research Institute for Advanced Buddhism at Soka University*, vols. 6-9.

2005-2008 “An Old Tibetan Translation of the Lotus Sutra from Khotan: The Romanised Text Collated with the Kanjur Version (1)~(4)”, *Annual Report of the International Research Institute for Advanced Buddhism at Soka University*, vols. 8-11.

2006 “The *Saddharmapuṇḍarīkasūtra* Manuscript from Farhād-Bēg in the Stein Collection (1)”, *Buddhist Manuscripts from Central Asia: The British Library Sanskrit Frag-*

ments, ed. by Seishi Karashima and Klaus Wille, The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University.

2014 “New research on the Buddhist Sanskrit manuscripts from Central Asia”, *Annual Report of The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University*, vol. 17.

2019 “Hokekyō shahon kenkyū no jūyōsei” 『法華經』写本研究の重要性, *Tōyō gakujutsu kenkyū* 東洋学術研究, 58-1.

Kasamatsu, Sunao. 笠松直

2021 “KN 322,4 mā ... śociṣṭa”, *Minami ajia koten gaku* 南アジア古典学, 16, pp.139-150

2022 “mā bhaiṣṭa / bhāyatha”, *Indogaku bukkyōgaku kenkyū* 印度学佛教学研究, 70-3, pp. 1095(57)-1101(63)

Kawaguchi, Ekai and Ikeda, Chotatsu.

1926 *Saddharmaṣuṇḍarīkā nāma mahāyānasūtram*, Tokyo.

Kj. = *Miāofāliánhuájīng* 妙法蓮華經, translated by Kumārajīva, in: *Taishō* vol. 9, No. 262, pp. 1-62.

KN = *Saddharmaṣuṇḍarīkā*, ed. by Hendric Kern and Bunyiu Nanjo, St. Petersburg 1908-12: Académie Imperiale des Sciences (Bibliotheca Buddhica X); Reprint Tokyo 1977: Meicho-Fukyū-Kai.

LMS(1) = Jiang, Zhongxin[1997].

LMS(12) = *Gilgit Lotus Sutra manuscripts from the National Archives of India : facsimile edition*, Soka Gakkai, India Office Library, The Institute of Oriental Philosophy, 2012.

LMS(13) = *Sanskrit Lotus Sutra manuscripts from the Institute of Oriental manuscripts of the Russian Academy of Sciences (SI P/5, etc.) : facsimile edition*, Soka Gakkai, The Institute of Oriental Studies of the Russian Academy of Sciences, The Institute of Oriental Philosophy, 2013.

MS(S) = manuscript(s)

O = the so-called Kashgar manuscript of the *Saddharmaṣuṇḍarīkasūtra*, kept in the St. Petersburg Branch of the Institute of Oriental Studies. Facsimile edition : LMS(13).

R = A in KN

SMS = *Sanskrit manuscript of Saddharmaṣuṇḍarīkā* 梵文法華經写本集成. *Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia*, comp. by Institute for Comprehensive Study of the Lotus Sutra, Rissho University 立正大学法華經文化研究所, Tokyo: Publishing Association of Saddharmaṣuṇḍarīkā Manuscripts 梵文法華經研究会, 12 vols., 1977-1982.

Tsuji, Naoshirō.

1970 “Hokekyō no gengo” 法華経の言語, *Hokekyō no seiritsu to tenkai* 法華経の成立と展開, ed. by Kanakura Ensho 金倉円照, Heirakuji shoten 平楽寺書店.

Toda, Hirofumi.

1979 “Saddharmapuṇḍarikasūtra Gilgit Manuscripts (Groups B and C)”, *Tokushima daigaku kyōyōbu kiyō* 徳島大学教養学部紀要, 14.

1980-1985 “Saddharmapuṇḍarikasūtra Nepalese Manuscript(K’), *Tokushima daigaku kyōyōbu rinrigakka kiyō* 徳島大学教養学倫理学科部紀要), 8(1980), 9(1982), 10(1982), 11(1985).

1983 *Saddharmapuṇḍarikasūtra, Central Asian manuscripts, Romanized texts*, Tokushima: Kyoiku Shuppanc Centre.

W = MS. of the *Saddharmapuṇḍarikasūtra* in the Possesion of Mr. Watters, formerly British Consul in Formosa, current location is unknown.

Watanabe, Shoko.

1972, 1975 *Saddharmapuṇḍarika Mauscript Found in Gilgit, I, II*, Reiyukai Tokyo.

## SYMBOLS USED IN THE transliteration

- + lost *akṣara*
- ( ) restored *akṣara*
- [ ] damaged *akṣara*
- < > omitted *akṣara*
- << >> interlinear correction
- { } superfluous *akṣara* or part of it
- { { } cancelled by correction mark
- .. illegible *akṣara*
- . single element thereof
- /// leaf broken off here
- | *daṇḍa*
- || double *daṇḍa*
- punctuation mark
- ∴ punctuation mark for *visarga*
- \* *virāma*

- *avagraha*, not written in the MS  
 ○ string hole

## XV Tathāgatāyuspraṃāṇa-parivartaḥ

### § 1 (KN.315.1~5)

Gilgit Manuscript, D2. 115a2

atha khalu bhagavān sarva<sup>(9)</sup>(D2 115a3)m eva taṃ bodhisatvagaṇam āmaṃtrayām āsa ·  
 avakalpayadhvaṃ<sup>(10)</sup> kulaputrā abhiśradda<dha>dhvaṃ<sup>(11)</sup> tathāgatasya bhūtāṃ vācā<ṃ>  
 vyāharataḥ <·> dvaitīyakam<sup>(12)</sup> api bhagavāṃs tāṃ<sup>(13)</sup> bodhisatvam āmantrayām āsa : (D2 115a4)  
 avakalpayadhvaṃ me kulaputrā abhiśradda<dha>dhvaṃ tathāgatasya bhūtāṃ vācā<ṃ>  
 vyāharataḥ<sup>(15)</sup> traitīyakam<sup>(16)</sup> api bhagavāṃs tāṃ<sup>(17)</sup> bodhisatvān āmaṃtrayām āsa · avakalpayadh-  
 vaṃ me kulapu<sup>(15)</sup>(D2 115a5)trā abhiśradda<dha>dhvaṃ tathāgatasya bhūtāṃ vācāṃ vyāharataḥ

### ○ “Kashgar Manuscript” 302b2

atha khalu bhagavā<sup>(302b3)</sup>n sarvāvantaṃ bodhisatvagaṇam āmantrayati sma· okalpayatha me  
 kulapu<sup>(302b4)</sup>trā abhiśraddadhatha tathāgatasya bhūtāṃ vācāṃ bhā<sup>(302b5)</sup>ṣamāṇasya  
 dvitīyam api bhagavān sar(v)āva[n](ta)ṃ [b]o(dh)isatvagaṇa<sup>(302b6)</sup>m āmantrayati sma ·  
 okalpayatha me ku(la) + + + + tathāgata<sup>(18)</sup><sup>(302b7)</sup>syā bhūtāṃ vācāṃ bhāṣamā(ṇa) .. + + + +  
 + + + + + . ṃtaṃ<sup>(19)</sup> bodhisatva<sup>(303a1)</sup>gaṇam āmantrayati sma · oka(l) [pa] + + + + + +  
 + + + + (tha)<sup>(20)</sup> tathāgatasya bhū<sup>(303a2)</sup>tā(ṃ) vācāṃ bhāṣamāṇasya·

### F (Farhād-Bēg) 37a (IOL SAN 505)6

atha khalu bhagavāṃ sarvāvantaṃ bodhisatvagaṇam āmantrayati sma okalpayatha me kula-  
 putrā<sup>(37a7)</sup> abhiśraddhadhatha<sup>(21)</sup> tathāgatasya bhūtā(ṃ) vā{ṃ}cāṃ bhāṣamāṇasya dvitīyakam  
 api bhagavāṃ sarvāvanta(ṃ) bodhi[s]atvagaṇam ama<sup>(37a8)</sup>ntrayati sma okalpayatha me  
 kulaputrā : abhiśraddhadhatha : tathāgatasya bhūtā(ṃ) vācāṃ bhāṣamāṇasya · ṭṭiya<sup>(37b1)</sup>kam  
 api bhagavāṃ sarvāvantaṃ bodhisatvagaṇam āmantrayati sma okalpayatha me kulaputrā :  
 abhiśraddhadhatha tathāgatasya<sup>(37b2)</sup> bhūtāṃ vā{ṃ}cāṃ bhāṣamāṇasya



## Tib. Kanjur version, the Derge Kanjur 118a1

bam po bcu pa/ de nas bcom ldan 'das kyis thams cad dang ldan pa'i byang chub sems dpa'i  
 tshogs la bka' stsal pa/ rigs kyi bu dag de bzhin gshegs pa ngas yang dag pa'i tshig smras pa  
 la dad cing yid ches par gyis shig /lan gnyis lan gsum du yang(D118a2) bcom ldan 'das kyis  
 byang chub sems dpa' de dag la bka' stsal pa/ rigs kyi bu dag de bzhin gshegs pa ngas yang  
 dag pa'i tshig smras pa la dad cing yid ches par gyis shig /

## Chin. Dh. 113a22

正法華經

如来現寿品第十五

爾時、世尊普告菩薩大衆、三举声詔「諸族姓子、悉当信仏、誠諦至教、勿得猶予」

## Chin. Kj. 42a29

妙法蓮華經

如来寿量品第十六

爾時、仏告諸菩薩及一切大衆「諸善男子、汝等当信解如来誠諦之語」

復告大衆「汝等当信解如来誠諦之語」

又復告諸大衆「汝等当信解如来誠諦之語」

## XV §2(KN.315.5~10)

## Gilgit manuscript, D2 115a5

atha khalu sa sarvāvāṃ<sup>(23)</sup> bodhisatvagaṇo maitreyaṃ bodhisatvaṃ mahāsatva{ṃ}m agrataḥ  
 sthātrīṃjalī<sup>(24)</sup> praḡr̥hya bhagavaṃ<sup>(25)</sup> (D2 115a6) tam etad ūcuḥ<sup>(26)</sup> bhāṣatām<sup>(27)</sup> bhagavān etam evārthaṃ  
 bhāṣatām sugataḥ vayaṃ tathāgatasya bhāṣitam abhiśraddadhāsyāmaḥ dvaitīyakam api  
 sarvāvān bodhisatvagaṇo bhagavaṃtam etad ū<sup>(28)</sup>(D2 115a7)cuḥ bhāṣatām bhagavān etam  
 evārthaṃ<sup>(29)</sup> bhāṣatām sugataḥ vayaṃ tathāgatasya bhāṣitam abhiśraddadhāsyāmaḥ traitīyakam  
 api sa sarvāvān bodhisatvagaṇo bhagavaṃtam etad ūcuḥ bhā<sup>(30)</sup>(D2 115a8)ṣatām bhagavān etam  
 evārthaṃ bhāṣatām sugataḥ vayaṃ tathāgatasya bhāṣitam abhiśraddadhāsyāma iti ·||

## O “Kashgar Manuscript” 303a2

atha kha(l)u + + + + + + + + +<sup>(31)</sup> [mai]treyaṃ bodhisatvaṃ (303a3) mahāsatvam agrataḥ  
 sthāpayitvāṃjalim pragṛhya bha(gavaṃtam e)tad avocat\* bhāṣatu bhaga(303a4)vān bhāṣatu  
 sugata vayaṃ tathāgatam abhiśraddadhāsyāmaḥ dvitīyakam api ṛtī(303a5)yakam api  
 sarvāvanto bodhisatvagaṇo bhagavantam etad avocu · bhāṣatu bhagavān\* bhā(303a6)ṣatu  
 sugatedam arthaṃ vayaṃ tathāgatasyedam arthaṃ bhāṣitam abhiśraddadhāsyāmaḥ

## F (Farhād-Bēg) 37b(IOL SAN 505)2

[a]tha khalu sarvāvanto bodhisatvagaṇo metreyaṃ bodhisatvaṃ mahāsatva[m ag]rataḥ  
 sthāpayitvāṃ(37b3)jali(ṃ) sa<ṃ>gṛhya bhagavantam e(tad a)vocat\* bh[āṣa]tu bhagavāṃ  
 [bh]āṣatu sugato vayaṃ tathāgatasya bhāṣitam abhiśraddadhāsyā(37b4)maḥ dvitīyakam api  
 sarvāvanto bodhisatvagaṇo bhagavantam etad avocuḥ bhāṣatu bhagavā(ṃ) bhāṣatu suga-  
 tedam ar[tha](ṃ) (37b5)[va]yaṃ tathā[ga](ta)[s]ya tam arthaṃ [bhā]ṣitam abhiśrad-  
 dhadhāsyāmaḥ

## Tib. Kanjur version, the Derge Kanjur 118a2

de nas thams cad dang ldan pa'i byang chub sems dpa'i tshogs kyis/ byang chub sems dpa'  
 (D118a3) sems dpa' chen po byams pa mdun du bzhag nas thal mo sbyar te/ bcom ldan 'das la  
 'di skad ces gsol to/ /bcom ldan 'das kyis don 'di bshad du gsol/ bde bar gshegs pas bshad du  
 gsol/ /de bzhin gshegs pas bka' stsal pa la bdag cag yid (D118a4) ches par bgyid do/ /lan  
 gnyis su yang thams cad dang ldan pa'i byang chub sems dpa'i tshogs kyis bcom ldan 'das la  
 'di skad ces gsol to/ /bcom ldan 'das kyis don 'di nyid bshad du gsol/ bde bar gshegs pas  
 bshad du gsol/ de bzhin gshegs pas (D118a5) bka' stsal pa la bdag cag yid ches par bgyid do/  
 /lan gsum du yang thams cad dang ldan pa'i byang chub sems dpa'i tshogs kyis/ bcom ldan  
 'das la 'di skad ces gsol to/ /bcom ldan 'das kyis don 'di dag bshad du gsol/ bde bar gshegs  
 pas bshad (D118a6) du gsol/ de bzhin gshegs pas bka' stsal pa la bdag cag yid ches par bgyid  
 do/ /

## Chin. Dh. 113a24

時會菩薩・彌勒大士・具余之衆咸皆叉手、白世尊曰「惟願大聖、分別說之。我等悉信如來所詔」  
諸菩薩白仏、而亦至三。

## Chin. Kr. 42b4

是時、菩薩大衆彌勒為首合掌、白仏言「世尊、唯願說之。我等當信受仏語」如是三白已、復言  
「唯願說之。我等當信受仏語」

## XV §3 (KN.315.11~317.4)

## Gilgit manuscript, D2 115a8

atha khalu bhagavāms teṣāṃ bodhisatvānāṃ yāva traitiyakam api a(D2 115b1)dhyeṣaṇāṃ vid-  
itvā tām bodhisatvān āmaṃtrayām āsa : te[na] hi kulaputrāḥ śrñudhvam idam evaṃ rūpaṃ  
mamādhiṣṭhānabalādhānaṃ · yo (')yaṃ kulaputrāḥ sadevamānuṣāsuro lokaḥ evaṃ jānīte ·  
sāṃ(D2 115b2)prataṃ bhagavatā śākyamuninā śākyakulād abhiniṣkramya gajāhvāye nagare  
bodhimaṇḍavarāgragatenānuttarāṃ samyaksambodhim abhisambuddhā iti · api tu khalu  
punaḥ kulaputrāḥ bahū(D2 115b3)ni mama kalpakoṭīnayutaśatasahasrāṇy anuttarāṃ samyak-  
sambodhim abhisambuddhasya tad yathā nāma kulaputrā paṃcāśatsu lokadhātu-  
koṭīnayutaśatasahasreṣu ye pṛthivīdhātupa(D2 115b4)ramāṇavaḥ atha kaścid eva puruṣa  
utpadyeta sa ekaṃ paramāṇurajo gṛhītvā pūrvasyāṃ diśi paṃcāśa eva lokadhātvasaṃkhyeya-  
koṭīnayutaśatasahasrāṇy atikramya (D2 115b5) tat paramāṇurajaḥ samupaniḥṣipēd anena  
paryāyeṇa sa puruṣaḥ sarvāṃs tām lokadhātun vyapagatapṛthivīdhātūṃ kuryād anena  
paryāyeṇa sa puruṣaḥ sarvāṃs tām lokadhātūn vya(D2 115b6)pagatapṛthivīdhātūṃ kuryāt[\*]  
sarvāṇi ca tāni pṛthivīdhātuparamāṇurajāṃsy anena paryāyeṇānena ca lakṣanikṣipena pūr-  
vasyāṃ diśy upaniḥṣipet\* tat kiṃ manyadhvaṃ kulaputrāḥ śakyāṃ (D2 115b7) tā lokadhātavaḥ  
kenacic cintayitūṃ vā tulayitūṃ vā gaṇayitūṃ vā upalakṣayitūṃ vā · evam ukte maitreyo  
bodhisatvo mahāsatvaḥ sa ca sarvāvān bodhisatvagaṇo bhagavaṃtam etad ū(D2 115b8)cuḥ  
asaṃkhyeyas te bhagavan lokadhātavaḥ aḡaṇanīyā[ś] (c) i[t] (ta) bh[ū]misamatikrāntāḥ sar-  
vaśrāvakapratyekabuddhair api bhagavann āryeṇa jñānena na śakyāṃ cintayitūṃ vā  
tulayitūṃ vā ga(D2 116a1)ṇayitūṃ vā upalakṣayitūṃ · asmākam api tāvad bhagavann avai-  
vartyabhūmisthitānāṃ bodhisatvānā{ṃ}m asmim̐ sthāne ci[n]tāgocarō na pravartate · tāvad

aprameyā bhagavaṃs te lokadhātavo bhavē (D2 116a2) yur ity<sup>(63)</sup>

### O “Kashgar Manuscript” 303a6

atha kha (303a7) [l]u bhagavāṃs teṣāṃ bodhisatvānāṃ yāvat tṛtīyakam apy āddhyeṣaṇaṃ vid-  
itvā tān bo (303b1) (dh) isatvān ā{ṃ}mantrayati sma · tena hi kulaputrā śṛṇutha idaṃ me kula-  
putrā eva (303b2) rūpam adhiṣṭhānabalādhānaṃ yad ayaṃ kulaputrā sadevamanuṣyāsuro loka  
evaṃ (303b3) jānāti · sā(ṃ)pratā bhagavatā śākyābhirājena śākyakulād abhiniṣkramitvā  
gajā (303b4) yāṃ nagare bodhimaṇḍavaragatenānuttarāṃ samyaksambodhim abhisambuddha  
(303b5) iti · api tu khalu punaḥ kulaputrā bahū[n]i (may) ā [ka]lpakoṭinayutaśatasa (303b6) hasrāṇy  
anuttarāṃ samyaksambuddhā[m abh]i + + + + + + + + [ma]<sup>(64)</sup> kulaputrā · pañcā (303b7) śatsū  
lokadhātu-asamkhyeya(k)o(ṭ)i + + + + + + + + + + + .idhātupara<sup>(65)</sup> (304a1) māṇavaḥ atha  
kaścid eva puru ... + + + + + + + + + + + [dg]ṛhītvā pūrva<sup>(66)</sup> (304a2) syāṃ diśi pañcāsa eva  
lokadhātva ... + + + + + + + + + + + hasrāṇy<sup>(67)</sup> atikkrami (304a3) tvā taṃ paramāṇurajam upaniṣipet\*  
atha sa puru(ṣa d)[v](i)[t](i)yakam api paramāṇura (304a4) jodgṛhītvā tataḥ pareṇāparam  
pañcāsa lokadhātvasamkhyeyakoṭinayutaśata (304a5) sahasrāṇy atikkramitvā tad api <paramāṇu-  
raja>m upaniṣipet\* etena paryāyeṇa sa puruṣas sa (304a6) rvā(ṃ)s tāṃl lokadhātūn apagata-  
pṛ<thi>vidhātum kuryāt\* {sa}sarvāṇi ca tāni pṛthividhātupa (304a7) ramāṇurajāṃsi · etena  
paryāyeṇai{nai}tena lakṣanikṣipet\* sa puruṣaḥ pūrva (304b1) syāṃ diśy upaniṣipet\* tat kiṃ  
manyatha kulaputrāḥ śākyāṃ te lokadhātavaḥ kenacid gaṇayitum (304b2) vā tulayitu(ṃ) vā  
cintayitum vā upalakṣayitum vā evam ukte maitreyo bodhisa (304b3) tvo mahāsatvaḥ sa ca  
sarvāvanto bodhisatvagaṇo bhagavantam etad avocat\* aprameyā (304b4) bhagavaṃs te  
lokadhātavaḥ asamkhyeyā aḡaṇaniyā acintyā atulyāś cittabhū (304b5) misamatikrāntā bhagavaṃs  
te lokadhātavaḥ sa[r] (vaśrāvaka)p(ra)tyekabuddhajñānasthitair a (304b6) pi bhagavan\* āryeṇāpi  
jñāne(na) na śa(kya)ṃ (te lokadhātavo gaṇayitum vā) tulayitum vā (304b7) cintayitum vā  
upalak(ṣay)i(tum vā) gavann avaiṣa (305a1) rtikabodhisatvabhūmau sthitānā + + + + + + + + +  
+ m(i)n sthāne citta (305a2) gocaro na pravartate · evāpramey. + + + + + + + + + [v](e)yur  
evāsamkhye (305a3) yā evācintyā evātulyā evāḡaṇanī[y](ā) + + .. r. māṇā<sup>(68)</sup> ·

### F (Farhād-Bēg) 37b (IOL SAN505) 5

atha khalu bhagavāṃ teṣā(ṃ) bodhisatvānāṃ yāvat tṛtīya (37b6) kam apy addhyeṣaṇaṃ vid-  
itvā tāṃ bodhisatvān ā{ṃ}mantrayati sma tena hi kulaputrāḥ śṛṇuta idaṃ evarūpam<sup>(69)</sup>

adhiṣṭhāna[ba]<sup>(37b7)</sup>lādānaṃ yad ayaṃ kulaputrāḥ sadevamanuṣyāsuro loka evaṃ jānāti ·  
 sāmprataṃ bhagavataḥ (śā)kyamuninā : śākyā<sup>(37b8)</sup>bhirājena : śākyakulād abhiniṣkramitvā :  
 gajāyāṃ nagare bodhimaṇḍavaragatenānuttarāṃ samyaksambodhim abhisambuddhā<sup>(38a1)</sup> iti  
 api tu khalu punaḥ kulaputrā bahūni mama kalpakoṭinayutaśatasahasrāṇy an(u)t(ta)rā(ṃ)  
<sup>(71)</sup> /// (38a2) buddhasya tad yathāpi nā{ṃ}[ma] kulaputrāḥ pañcāśa .. + + .. ..<sup>(72)</sup>  
 asaṃkhyeya(k)o(t)i .. ..<sup>(73)</sup> /// (38a3) ṇavaḥ atha kaścīd eva (p) .. .. (u)tpa(dye) /// (38a4)  
 koṭinayuta(śa)[tasa]ha<sup>(75)</sup> /// (38a5) ramānurajo (')dgrhītvā : [ta] /// (38a6) [ta]d api  
 [pa]ramānura(ja)[m].<sup>(77)</sup> /// (38a7) ryāt\* sarvāṇi ca tāni pṛ[th]ivī[dh](ā)tu(param)ā .(u) ///<sup>(78)</sup>  
 (38a8) syā(ṃ) dīśy upanikṣipet\* tat ki(ṃ) manyatha kula<pu>trāḥ śak[y]aṃ te loka[dh]  
 ātavaḥ kenac(i)d [g].<sup>(79)</sup> /// (38b1) tu(ṃ) vā{ṃ} upalaksayitu(ṃ) vā{ṃ} evam ukt[e] metreyo  
 bodhisatvo mahāsatvaḥ sa ca sa ..<sup>(80)</sup> /// (38b2) aprameyā bhagavāṃs te lokadhātavaḥ asaṃkhy-  
 eyāḥ [a] + + .iyāḥ a(c)[i]<sup>(81)</sup> /// (38b3) lokadhātavaḥ sarvaśrāva .. + + + + .[ā] ..<sup>(83)</sup> /// (38b4)  
 [tu]layitu(ṃ) vā ci(ṃ)tayitu(ṃ) /// (38b5) bodhisatvānā{ṃ}[m a](sm)i(ṃ) sthāne<sup>(85)</sup> ///  
 (38b6) evācintyā evātul. + ..<sup>(86)</sup> ///

### Tib. Kanjur version, the Derge Kanjur 118a6

de nas bcom ldan 'das kyis byang chub sems dpa' de rnam kyis lan gsum gyi bar du gsol ba  
 btab pa mkhyen nas/ byang chub sems dpa' de dag la bka' stsal pa/ rigs kyi bu (D118a7) dag  
 de'i phyir ting nge 'dzin gyi stobs bskyed pa 'di lta bu 'di nyon cig /rigs kyi bu dag lha dang  
 mi dang lha ma yin du bcas pa'i 'jig rten 'dis ni/ bcom ldan 'das shākya thub pa shākya'i  
 khyim nas mngon par byung ste/ grong khyer ga ya zhes bya bar byang chub kyi snying po  
 mchog dam par gshegs (D118b1) nas da gdod bla na med pa yang dag par rdzogs pa'i byang  
 chub mngon par rdzogs par sangs rgyas so snyam du de ltar shes mod kyi/ rigs kyi bu dag  
 nga ni bskal pa bye ba khrag khrig brgya stong mang po nas/ bla na med pa yang dag par  
 rdzogs pa'i byang chub mngon par rdzogs par sangs rgyas so/ / (D118b2) rigs kyi bu dag 'di  
 lta ste dper na/ mi la la zhis byung la des 'jig rten gyi khams grangs med pa bye ba khrag  
 khrig brgya stong phrag lnga bcu'i sa'i khams kyi rdul phra rab dag las rdul phra rab gcig  
 khyer te/ shar phyogs su 'jig rten gyi khams grangs med pa bye ba khrag khrig brgya stong  
 (D118b3) phrag lnga bcu kho na 'das nas rdul phra rab kyi rdul de bzhag la/ mi des rnam  
 grangs 'dis 'jig rten gyi khams de dag thams cad kyi sa'i khams rnam zad par byas nas/ sa'i  
 khams kyi rdul phra rab kyi rdul de dag thams cad rnam grangs 'di dang gzhag pa'i tshul 'dis  
 shar phyogs su (D118b4) bzhag na/ rigs kyi bu dag 'di ji snyam du sems/ 'jig rten gyi khams

de dag la la zhiḡ gis bsam pa 'am/ dpag pa 'am/ bgrang ba 'am/ brtag par nus sam/ de skad ces bka' stsal nas/ byang chub sems dpa' sems dpa' chen po byams pa dang thams cad dang ldan pa'i (D118b5) byang chub sems dpa'i tshogs des/ bcom ldan 'das la 'di skad ces gsol to/ / bcom ldan 'das 'jig rten gyi khams de dag ni grangs ma mchis pa bgrang du ma mchis pa sems kyi sa las yang dag par 'das pa ste/ bcom ldan 'das nyan thos dang rang sangs rgyas thams cad (D118b6) kyis kyang / 'phags pa'i ye shes kyi bsam pa 'am/ dpag pa 'am/ bgrang ba 'am/ brtag par mi nus so/ / bcom ldan 'das gnas 'di ni/ bdag cag phyir mi ldog pa'i sa la gnas pa'i byang chub sems dpa' rnams kyi bsam pa'i spyod yul du yang mi 'gyur te/ (D118b7) bcom ldan 'das 'jig rten gyi khams de dag de tsam du tshad ma mchis pa lags so/ /

### Chin. Dh. 113a27

於是世尊見諸菩薩三稱、勸助欲令佻說、佻告諸菩薩曰「諦聽、諦聽、善思念之、僉曰受教」佻言「族姓子、如來建立如是色像無極之力、諸天·竜神·阿須倫·世間人、各自知之、各自念言『能仁世尊從釈氏土、棄國捐王、行至江邊、就于道場坐於樹下、逮得無上正真道成最正覺』又、吾在昔從無數億百千那術姦劫以來、已成至真等正覺矣。

譬有無數五百千億佻世界、所有土地滿其中塵。若有士夫舉取一塵、過于東方不可計會億百千姦諸佻國土、乃著一塵、如是次取越爾所國土。復著一塵、如斯比類、取無數五百千億佻界所有土地一切之塵、一一取布著諸佻國、悉令塵盡。於諸族姓子意中、云何、有能計數此諸佻國、思惟籌算、寧知者乎」

弥勒·大会諸菩薩衆悉白佻言「無能計者。天中天、所以者何。諸佻世界甚多、無量、不可思議、非心所及。假使一切声聞·縁覺處賢聖慧、不能思惟知其數者。唯有世尊大聖之慧乃能知耳。余無能及。正使我等不退轉地諸菩薩、尚不能知。此諸佻世界不可限量、難得迦際」

### Chi. Kj. 42b7

爾時、世尊知諸菩薩三請不止、而告之言「汝等、諦聽。如來秘密神通之力、一切世間天·人及阿修羅、皆謂『今釈迦牟尼佻出釈氏宮、去伽耶城、不遠坐於道場、得阿耨多羅三藐三菩提』然、善男子、我實成佻已來、無量無迦百千万億那由他劫。

譬如五百千万億那由他阿僧祇三千大千世界、假使有人末為微塵、過于東方五百千万億那由他阿僧祇國、乃下一塵、如是東行尽是微塵。諸善男子、於意云何。是諸世界可得思惟校計知其數不」弥勒菩薩等俱白佻言「世尊、是諸世界無量無迦非算數所知、亦非心力所及。一切声聞·辟支佻、以無漏智、不能思惟、知其限數。我等住阿惟越致地、於是事中、亦所不達。世尊、如是諸世界

無量・無辺」

## XV § 4a (KN.317.5~318.8)

Gilgit manuscript, D2 116a2

evam ukte bhagavāms tān bodhisatvān mahāsatvān etad avocat\* ārocayāmi vaḥ kulaputrāḥ  
 pratedayāmi vo yāvantaḥ<sup>(87)</sup> kulaputrās te lokadhātavo yeṣu tena puruṣeṇa tāni paramā(D2  
 116a3)ṇurajāmsy upariḥṣiptāni · yā sa nopadiḥṣiptāni sarveṣu teṣu kulaputrā lokadhātu-  
 koṭṭinayutaśatasahasreṣu na tāvaṃti paramāṇurajā<ṃ>si saṃvidyaṃte · yāvaṃti mama<sup>(91)</sup>  
 kalpakoṭṭina(D2 116a4)yutaśatasahasrāṇy anuttarāṃ samyaksambodhim abhisambuddhasya ·  
 yataḥ prabhṛty a{ṃ}haṃ kulaputrā asyāṃ saḥāyāṃ lokadhātu satvānāṃ dharmāṃ<sup>(92)</sup>  
 deśayāmy anyeṣu ca lokadhātuko(D2 116a5)ṭṭinayutaśatasahasreṣu · ye ca mayā kulaputrāṃ-  
 tare tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhaḥ parikīrtitaḥ dipaṃkaratathāgataprakṛtayas<sup>(96)</sup>  
 teṣāṃ tathāgatānāṃ a(D2 116a6)rhatāṃ samyaksambuddhānāṃ parinirvāṇāya mamaitāni kula-  
 putrā upāyakausalyadharmadeśanābhinirhāranimittāni · api tu khalu punaḥ kulaputrās<sup>(97)</sup>  
 tathāgatā āgatānāgatā(D2 116a7)nāṃ satvānāṃ indriyaviryavaimātratāṃ vyavalokayitvā tas-  
 miṃ tasmi{ṃ}n ātmano nāma vyāharati · tasmiṃ tasmi{ṃ}n ātmanaḥ parinirvāṇaṃ<sup>(98)</sup>  
 vyāharati · tathā tathā ca satvāṃ paribhoṣayati nā(D2 116a8)nāvidhair dharmaparyāyāiḥ tatra  
 kulaputrā tathāgato nānādhimuktānāṃ satvānā{ṃ}m alpakuśalamūlānā<ṃ> bahvopak-  
 leśānāṃ evaṃ vadati · daharo (')ham asmim bhikṣabo jātyābhini (D2 116b1)ṣkrāntaḥ<sup>(101)</sup>  
 acirābhisambuddho (')smi bhikṣavo (')ttarāṃ samyaksambodhim\* || yat khalu punaḥ kulapu-  
 trās tathāgata evaṃ cirābhisambuddhaḥ vyāharati · acirābhisambuddho (')ham smīti ·  
 nānyatra satvānāṃ (D2 116b2) vinayaparipācanārtham ete dharmaparyāyā bhāṣitāḥ sarve ca<sup>(102)</sup>  
 te kulaputra dharmaparyāyās tathāgatena satvānāṃ vinayārthāṃ bhāṣitāṃ yāṃ ca kulapu-  
 trās tathāgataḥ satvānāṃ vinayārtho vā(D2 116b3)caṃ bhāṣaty ātmanopadarśane<na> vā<sup>(103)</sup>  
 [pa]r[o]padarśanena vātmāraṃbaṇena vā parāraṃbaṇena vā yat kiṃcit tathāgato vyāharati<sup>(104)</sup>  
 · sarve te dharmaparyāyāḥ satyās tathāgatena bhāṣitāḥ nāsty anyatra tathāga(D2 116b4)tasya<sup>(105)</sup>  
 mṛṣāvādaḥ<sup>(106)</sup>

## O “Kashgar Manuscript” 305a3

evam ukte bha(305a4)gavāms tān bodhisa<tvā>n mahāsatvān etad avocat\* ārocayāmi vo kula-  
 putrāḥ prati(305a5)vedayāmi · yātakāḥ kulaputrāḥ teṣu lokadhātuṣu pṛthivīdhātu(h)

paramāñura<sup>(305a6)</sup>jāṃsi yatra tena puruṣeṇa paramāñurajāṃsy upanikṣiptāni yatra ca  
naupanikṣiptā<sup>(305a7)</sup>ni · sarveṣu lokadhātuṣu koṭinayutaśatasahasreṣu na tāvanti paramāña-<sup>(119)</sup>  
<sup>(305b1)</sup>rajāṃsi saṃvidyaṃti · yāvanta kalpakoṭinayutaśatasahasraṇi · <ma>yā (')nuttarāṃ  
samyā<sup>(305b2)</sup>ksaṃboddhim abhisambuddhā · yata prabhṛtyāham iha sahe lokadhātau satvānāṃ  
dharmāṃ deśa<sup>(305b3)</sup>yāmy anyeṣu ca lokadhātukoṭinayutaśatasahasreṣu ye ca mayā kulapu-  
trā a<sup>(305b4)</sup>trāntare tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhāḥ parikirtitāḥ paridīpitāḥ <sup>(305b5)</sup>  
dipa{m}ṅkara{s}tathāgatapravṛtikā{m}s teṣā(m) [tathāga](tānām a)r[ha]tām samyaksam-  
buddhānām <sup>(305b6)</sup> parinirvāṇa mayā etāni kula .. + + + + + .. deśanā-  
abhini<sup>(120)</sup><sup>(305b7)</sup>rhārārtham abhinirmitā[n]i + + + + + + + + + + .. tathāga<sup>(121)</sup><sup>(306a1)</sup>ta  
āgatāgatānām satvān. + + + + + + + + + + lokayitvā tā<sup>(122)</sup><sup>(306a2)</sup>ni tāny ātmano nāmāni  
karoti · tatra + + + + + + + + + .. rati<sup>(123)</sup> · tathā ta<sup>(306a3)</sup>thā ca satvāni paritoṣayati ·  
nānāvi{vi}dh[e]bh(ir) dh(armapar)yāy(e)bhi · nānāprakārebhi<sup>(306a4)</sup>s tatra kulaputrāḥ  
tathāgato nānādhimuktikānāṃ nānābhīprāyānāṃ alpa<sup>(305b5)</sup>kuśalamūlānāṃ karmāva-  
rañvṛtānāṃ bahūpakleśānā{m}m evaṃ vadati · daharo <sup>(306a6)</sup> (')ham asmi bhikṣavo jātyā  
abhiniṣkrāntaḥ acirābhisambuddho (')smi bhikṣavo (')nuttarāṃ samyaksam<sup>(306a7)</sup>bo{d}dhir  
yat khalu punaḥ kulaputrāḥ tathāgata eva<m>cirābhisambuddho (')nuttarāṃ samyaksam-  
bodhi(m) e<sup>(306b1)</sup>vam ca vyāharaty acirābhisambuddho (')ha<m a>smi nānyatra satvānāṃ  
paripācanāsthā<sup>(306b2)</sup>ya satvānāṃ avatāraṇārthāya tathāgatenaite dharmaparyāyā bhāṣitā ·  
<sup>(306b3)</sup> sarve ca te kulaputrā dharmaparyāyas tathāgatena satvānāṃ vinayārthāya  
sa<sup>(306b4)</sup>tvānāṃ paripācanahetor bhāpitāḥ yāṃ yāṃ eva ca kulaputrāḥ tathāga<sup>(306b5)</sup>taḥ  
satvānāṃ vinayārthāya vācāṃ bhā[ṣ]. + .opadarśanena vā <sup>(124)</sup>paropa<sup>(125)</sup><sup>(306b6)</sup>darśanena vā  
{paropadarśanena vā} + + + + + + + + [ra]mḃaṇena vā · <sup>(126)</sup><sup>(306b7)</sup> yat kiṃci kulaputrāḥ  
tathāga(t)o + + + + + + + + + + satyās tathāgate<sup>(127)</sup><sup>(307a1)</sup>na bhāṣitā nāsti kaścīd atra ta  
+ + + + + + + + + +<sup>(128)</sup>

## F (Farhād-Bēg) 38b (IOL SAN515)7

cat(\*) ārocayāmi vo ku(la)putrāḥ prativ[e]d(a)[y]. + + + + .u + + [trās] t(e)[ṣ]u<sup>(129)</sup> ///  
<sup>(38b8)</sup> yattra tena puruṣeṇa paramāñurajā(m)sy upanikṣiptāni · yatra ca nopanikṣiptāni  
sarveṣ[u] teṣu ..<sup>(130)</sup> /// <sup>(131)</sup>(39a1) taśatasahasreṣu na [t].<sup>(132)</sup> /// (39a2) [m] abhisambuddhasya ya  
/// <sup>(133)</sup>(39a3) sahasreṣu : [ye] /// <sup>(134)</sup>(39a4) s. ā ..<sup>(135)</sup> /// (39b6) .. vā{m} [ya]t k[iṃ]c(i) ..<sup>(136)</sup> /// (39b7)  
mṛṣāvādāṃ



## Tib. Kanjur version, the Derge Kanjur 118b7

de skad ces gsol pa dang / bcom ldan 'das kyis byang chub sems dpa' sems dpa' chen po de  
dag la 'di skad ces bka' stsal to/ /rigs kyi bu dag khyed mos par bya'o/ /khyed kyi khong du  
(D119a1) chud par bya'o/ /rigs kyi bu dag 'jig rten gyi khams ji snyed pa de dag las/ mi des  
gang dag tu rdul phra rab de dag bzhag pa dang / rigs kyi bu dag gang dag tu ma bzhag pa'i  
'jig rten gyi khams bye ba khrag khrig brgya stong phrag de dag thams cad na rdul phra rab  
kyi rdul (D119a2) yod pa de dag ni/ rigs kyi bu dag nga bla na med pa yang dag par rdzogs  
pa'i byang chub mngon par rdzogs par sangs rgyas pa'i bskal pa bye ba khrag khrig brgya  
stong phrag ji snyed pa de snyed du med do/ /rigs kyi bu dag gang tshun chad ngas 'jig rten  
gyi khams mi mjed 'di dang / 'jig rten gyi khams (D119a3) gzhan bye ba khrag khrig brgya  
stong dag tu sems can rnams la chos bstan pa de'i bar du/ rigs kyi bu dag ngas de bzhin  
gshegs pa mar me mdzad la sogs pa/ de bzhin gshegs pa dgra bcom pa yang dag par rdzogs  
pa'i sangs rgyas gang dag yongs su brjod pa'i de bzhin gshegs pa (D119a4) dgra bcom pa yang  
dag par rdzogs pa'i sangs rgyas de dag yongs su mya ngan las 'da' bar bya ba'i phyir/ rigs  
kyi bu dag ngas thabs mkhas pas chos bstan pa mngon par bsgrub pa de dag sprul to/ /rigs  
kyi bu dag yang de bzhin gshegs pa ni/ sems can 'ongs shing lhags (D119a5) pa rnams kyi  
dbang po dang brtson 'grus kyi rim pa la gzig nas/ de dang de dag tu bdag gi ming brjod  
cing de dang de dag tu bdag nyid yongs su mya ngan las 'das par brjod do/ /chos kyi rnam  
grangs rnam pa mang pos de lta de lta bur sems can rnams yongs su tshim par mdzad do/ /  
(D119a6) rigs kyi bu dag de la de bzhin gshegs pas mos pa tha dad pa'i sems can dge ba'i rtsa  
ba chung ba/ nye ba'i nyon mongs pa mang ba rnams la 'di skad du/ dge slong dag nga ni na  
gzhon te/ mngon par byung ba dang dge slong dag nga bla na med pa yang dag par rdzogs  
pa'i byang chub mngon par (D119a7) rdzogs par sangs rgyas nas ring po ma lon no zhes  
gsung ngo / /rigs kyi bu dag de ltar de bzhin gshegs pa mngon par rdzogs par sangs rgyas  
nas yun ring mod kyi/ nga mngon par rdzogs par sangs rgyas nas ring po ma lon no zhes  
gsungs te/ sems can rnams yongs su (D119b1) smin par bya ba dang gzud pa'i don ma gtogs  
par chos kyi rnam grangs 'di dag ma bshad do/ /rigs kyi bu dag chos kyi rnam grangs de  
dag thams cad kyang de bzhin gshegs pas sems can rnams gdul ba'i phyir gsungs so/ /rigs  
kyi bu dag de bzhin gshegs pas sems can (D119b2) rnams gdul ba'i phyir tshig gang gsungs  
pa/ bdag las smos kyang rung gzhan las smos kyang rung / bdag la dmigs kyang rung gzhan  
la dmigs kyang rung ste/ de bzhin gshegs pas gang ci bshad pa'i chos kyi rnam grangs de  
dag thams cad ni bden pa de bzhin gshegs pas (D119b3) gsungs pa ste/ 'di la de bzhin gshegs

pa la brdzun du smra ba med do//

### Chi. Dh. 113b19

於時、世尊告大衆曰「今吾宣布詔諸族姓子。如彼士夫取無數五百千億界中塵、拳一塵過于東方不可計會億百千姦諸仏国土、乃著一塵。如是、次取越爾所国土、復著一塵、如斯比類、取無數五百千億仏界所有土地一切之塵、一一取布、著諸仏国、悉令塵盡。吾逮無上正真道、成最正覺已來、其劫之限、過於爾所塵數之劫。

諸族姓子等見吾於此忍界講法、復在他方億百千姦諸仏世界而示現、皆悉稱吾、為如來至真等正覺、鏡光如來、以諸伴党若干之數、而現滅度。

諸族姓子、吾以善權方便演說經典、現無數種種瑞應。

又、如來悉知一切群萌往來・進止・諸原根本、悉觀其心、而隨示現、各為名号、亦不滅度、而說泥洹、順諸衆生瑕穢・善惡、則為解演若干種法。

諸族姓子、見無數品、心性各異、所行不同、德本淺薄、多所壞破、而不信樂、故為說言、告諸比丘『這度終始、方今出家、成平等覺、從來未久、甫乃逮得無上正真道、成最正覺』

又、如來成仏已來甚久、故仏說言『得仏未久』所以者何。欲化衆生故。諸可說經、皆已度脫、所可講詔、自現其身、為一切故、建示所行、皆為天・人喜造罪福。以故如來諸所講演、皆實至誠、非是虛妄。

### Chi. Kj. 42b22

爾時、仏告大菩薩衆「諸善男子、今當分明宣語汝等。是諸世界、若著微塵及不著者、盡以為塵・一塵・一劫、我成仏已來、復過於此百千萬億那由他阿僧祇劫自從是來、我常在此娑婆世界說法教化、亦於余處百千萬億那由他阿僧祇国導利衆生。

諸善男子、於是中間、我說燃灯仏等、又復言其入於涅槃、如是皆以方便分別。

諸善男子、若有衆生來至我所、我以仏眼觀其信等、諸根利鈍、隨所應度、處處自說、名字不同、年紀大小。亦復現言當入涅槃、又以種種方便、說微妙法、能令衆生發歡喜心。

諸善男子、如來見諸衆生、樂於小法、德薄・垢重者、為是人說『我少出家、得阿耨多羅三藐三菩提。然、我實成仏已來久遠若斯、但以方便教化衆生、令入仏道』

作如是說、諸善男子、如來所演經典、皆為度脫衆生、或說己身、或說他身、或示己身、或示他身、或示己事、或示他事、諸所言說皆實不虛

## 注

- (1) 本研究の準備段階において、東洋哲学研究所嘱託研究員の水船教義氏に多くのご尽力を賜った。記して御礼申し上げます。
- (2) 石田[2006], p. 8, 辛嶋[2019], p. 331を参照。『法華経』写本研究の詳細については両論考を参照されたい。
- (3) 辛嶋教授の指摘による。辛嶋[2019], p. 335参照。
- (4) 辛嶋[2014], pp. 124-127を参照。
- (5) 動詞 *bhay/bhi* の禁止法に用いる語幹について、他のギルギット・ネパール伝本がほぼ一貫してアオリスト語幹の *bhaiṣṭa* を支持する一方、河口写本は K' 73a3 *kāyadhvaṃ* (~ Kashg 182a2 *bhāyatha*) ないし K' 165b5 *bhayadhvaṃ* と現在語幹に基づくと思しい語形を遺す。動詞 *soc/suc* では、戸田教授の謂う R 系写本を中心に *sociṣṭa* と読むが、河口写本は *socatha* (= Kashg 311a7-b1 *socatha*, cf. Gilgit D2 115,1 *soca*) と読む。
- (6) 辻[1970]は「K'はしばしばOと一致する。両系統の間に交渉があり、折衷が起こったものと見られる(p. 217)」と推定するが、なお検討の余地がある。
- (7) 『法華経』チベット語訳には他に、コートンより出土し、ストックホルムに保存されている古訳写本があり、辛嶋教授により全て翻刻されている(Karashima[2005-2008])。しかし同写本は完本ではなく、本稿の取り扱う如来寿量品冒頭部分は欠落している。そのため、今年度は取り扱わない。
- (8) 本略号表は辛嶋[2003-2006]より一部を転載している。
- (9) āmanṭrayām āsa: āmanṭrayām āsa: W, K. āmanṭrayati sma: F, O.
- (10) avakalpayadhvaṃ: okalpayatha: F.
- (11) abhiśradda<dha>dhvaṃ: abhiśraddhatha: F, abhiśraddadhatha: O, abhiśraddadhadhvaṃ: K, KN.
- (12) dvaitiyakam: dvitīyakaṃ: F, dvitīya<ka>m: O, dvaitiyakam: W, K.
- (13) tāṃ: *Read* tān, tān: K.
- (14) āmanṭrayāmāsa: āmanṭrayāmāsa: A, K, Cb, āmanṭrayati sma: O, W.
- (15) The whole phrase is left out in K, A, W. The phrase exists in K'.
- (16) traitiyakam: ṭṛtīyakam: F, traitiyakam: W, K, K'.
- (17) tāṃ: *Read* tān.
- (18) ku(la) + + + + +: Toda[1983] *reads* ku(laputrā abhiśraddadhatha).
- (19) bhāṣamā(ṇa) .. + + + + + + + + + + + ṇṭam: Toda[1983] *reads* bhāṣamāṇa(sya ṭṛtīyakam api bhagavān sarvāva)ṇṭam.
- (20) oka(l) [pa] + + + + + + + + + + + (tha): Toda[1983] *reads* oka(lpayatha me kulaputrā abhiśraddadhatha)tha.
- (21) abhiśraddadhatha: abhiśraddadhatha: O.
- (22) amanṭrayati: S. e. for āmanṭrayati.
- (23) sa: *Left out* in B, K, F.
- (24) sthātrīṃajali: *Read* sthāpyāmajali. sthāpyāmajali: Ca, Cb, sthāpyāmajali: K'.
- (25) praṅghya: praṅmya: Ca, Cb.
- (26) ūcuḥ: avocat\*: KN, O, ūcuḥ: K'.
- (27) bhāṣatām: bhāṣatu: KN, O, K'.
- (28) ūcuḥ: avocat\*: KN, avocuḥ: O, ūvocat(!): K'.
- (29) bhāṣatām: S.e. for bhāṣatām?
- (30) bhāṣatām: S.e. for bhāṣatām?

- (31) + + + + + + + + : Toda[1983] *reads* (sarvāvanto bodhisatvagaṇo).
- (32) āmaṇṭrayām āsa: āmanṭrayate sma: O, āmanṭrayām āsa: A, Cb, W, K, K', āmanṭrayati sma: KN.
- (33) śṛṇudhvam: śṛṇudhvam: KN, K', śṛṇutha: O, śṛṇuta: F.
- (34) yo (')yaṃ: yo'yaṃ: K', yad ayaṃ: O, F, KN.
- (35) jānīte: saṃjānīte: KN, sañjānīte: K', jānāti: O, F.
- (36) sāṃpratam: sāṃpratam: KN, sāṃpratam: F, sāṃpratam: K', sāṃpratā: O.
- (37) śākyamuninā: śākyamuninā: KN, K', śākyābhirājena: O, (śā)kyamuninā śākyābhirājena: F.
- (38) śākyakulād: *Left out in* K.
- (39) abhiniṣkramya: abhiniṣkramya: KN, K', abhiniṣkramitvā: O, F.
- (40) gajāhvāye: gajāyāṃ: O, F, gayāhvāye: KN, K'.
- (41) bodhimaṇḍavarāgragatenānuttarām: bodhimaṇḍavarāgragatenānuttarā: K', bodhimaṇḍavaragatenānuttarām: KN, O, F. Nom. sg. ām, see Edgerton[1953], p. 61.
- (42) samyaksambodhim: samyaksambodhir: K', samyaksambodhim: KN, O, F. Nom. sg. -im, see Edgerton [1953], p. 71.
- (43) abhisambuddhā iti: abhisambuddhā iti: K', F, abhisambuddha iti: O, KN.
- (44) mama: mama: KN, K', F, mayā: O.
- (45) samyaksambodhim: samyaksambodhim: KN, K', samyaksambuddhā[m]: O.
- (46) lokadhātukoṭīnayutaśatasahasreṣu: lokadhātukoṭīnayutaśatasahasreṣu: KN: lokadhātvasaṃkhyeya-koṭīnayutaśatasahasreṣu: K', lokadhātu-asamkhyeya(k)o(ṭ)i + + + + + + + +: O, + + + ... asamkhyeya(k)o(ṭ)i .. //: F.
- (47) utpadyeta: utpadyate: KN, utpadyeta: K'. O, F *lacked*.
- (48) paramāṇurajo gṛhītvā: paramāṇurajaṃ gṛhītvā: KN, K', paramāṇurajo (')dgṛhītvā: F, + + + + + [dg]ṛhītvā: O.
- (49) atikramya: atiramya: KN, K', atikkramitvā: O.
- (50) tat paramāṇurajaḥ samupaniṣipet: tad ekaṃ paramāṇurajaḥ samupaniṣipet: KN, tam paramāṇurajaṃ samupaniṣipet: K', taṃ paramāṇurajaṃ upaniṣipet\*: O, [ta]d api [pa]ramāṇura(ja)[m]. //: F.
- (51) vyapagataprthivīdhātūṃ: vyapagata°: K', K, B, apagata°: O, vyavagata°: KN. prthivīdhātūṃ: prthivīdhātūṃ: O, prthivīdhātūṃ: K', prthivīparamāṇurajaṃ: A, prthivīparamāṇuṃ\*: K, W, prthivīdhātūṃ: KN. F *lacked*.
- (52) manyadhvam: S. e. for manyadhve? manyadhvam: K', manyatha: O, F, manyadhve: KN.
- (53) tā: tā: K', te: O, F, KN.
- (54) mītreyo: metreyo: F.
- (55) sarvānvān: sarvānvān: KN, sarvā(vā)ṃ: K', sarvāvant: O. F *lacked*.
- (56) bodhisatvagaṇo: bodhisatvagaṇo: O, KN, bodhisatvagaṇān: K'. F *lacked*.
- (57) ūcuḥ: avocat: O, K', KN. F *lacked*.
- (58) te: te: O, KN, tā: K', tāvad: A, K, W.
- (59) agaṇaniyā[ś]: agaṇaniyā: K', 'gaṇaniyāś: KN, asaṃkhyeyā agaṇaniyā acintyā atulyāś: O, asaṃkhyeyā : [a] + + .iyā : a(c)[i] //: F.
- (60) sarvaśrāvakaṃpratyekabuddhair: sarvaśrāvakaṃpratyekabuddhair: K', KN, sarvaśrāvakaṃpratyekabuddha-jñānasthitair: O.
- (61) avāivartyabhūmisthitānām: avāivartyabhūmisthitānām: K', KN, avāivartikabodhisatvabhūmau sthitānā(ṃ): O. F *lacked*.

- (62) ci[n]tāgocarō: *Read* cintāgocarō. cintāgocarō: K, cittagocarō: O, KN. F *lacked*.
- (63) tāvad aprameyā bhagavaṃs te lokadhātavo bhaveyur ity: evāprameyā + + + + + + + + [v](e)yur evāsaṃkhyeyā evācintyā evātulyā evāgaṇanī[y](ā) + + .. r. māṇā :: O, /// evācintyā evātul. + .. ///: F.
- (64) abh]i + + + + + + + + [ma]: Toda[1983] *reads* abhi(saṃbuddhasya tad yathā 'pi nā)ma.
- (65) asaṃkhyeya(k)o(ṭ)ī + + + + + + + + + + .idhātupara : Toda[1983] *reads* asaṃkhyeyakoṭī (nayutaśatasahasreṣu ye pṛthiv)īdhātupara.
- (66) puru .. + + + + + + + + + + [dg]ṛhītvā: Toda[1983] *reads* puruṣa(utpadyeta sa ekaṃ paramāṇu-  
rajo)dgṛhītvā.
- (67) lokadhātva .. + + + + + + + + hasrāṇy: Toda[1983] *reads* lokadhātvasa(mkhyeyakoṭīnayutaśatasā)hasrāṇy.
- (68) + .. r. māṇā: *Read* aparimāṇā? aprameyā: KN, K.
- (69) śṛṇuta: śṛṇutha: O.
- (70) Fol.38a=IOL SAN 515.
- (71) an(u)t(ta)rā(m) ///: Toda[1983] *reads* anuttarā(m) (samyaksaṃbodhim abhisam).
- (72) pañcāsa .. + + .. : Toda[1983] *reads* pañcāsa(tsu lokadhātu).
- (73) asaṃkhyeya(k)o(ṭ)ī .. .. ///: Toda[1983] *reads* asaṃkhyeyakoṭī(nayutaśatasahasreṣu ye pṛth-  
vīdhātuparamā).
- (74) (p). .. (u)tpa(dye) ///: Toda[1983] *reads* (puruṣa utpadyeta sa ekaṃ paramāṇurajodgṛhītvā pūr-  
vasyāṃ diśi pañcāsa eva loka dhātvasaṃkhyeya).
- (75) koṭīnayuta(śa)[tasa]ha ///: Toda[1983] *reads* koṭīnayutaśatasaha(srāṇy atikramitvā taṃ paramāṇura-  
ja-m-upaṇiṣipet\* atha sa puruṣo dvitīyakam api pa).
- (76) [ta] ///: Toda[1983] *reads* ta(taḥ pareṇāparam pañcāśal lokadhātvasaṃkhyeyakoṭīnayutaśatasahasrāṇy  
atikramitvā).
- (77) [pa]ramāṇura(ja)[m]. ///: Toda[1983] *reads* paramāṇura(ja-m-upaṇiṣipet\* etena paryāyena sa puru-  
ṣas sarvāṃs tāṃl lokadhātūṃ apagatapṛthivīdhātūṃ ku).
- (78) pṛ[th]ivī[dh](ā)tu(param)ā.(u) ///: Toda[1983] *reads* pṛthivīdhātuparam(āṇurajāṃsi etena paryāye-  
ṇaitena sa puruṣaḥ pūrva).
- (79) [g]. ///: Toda[1983] *reads* (gaṇayitum vā tulayitum vā cintayi).
- (80) sa .. /// Toda[1983] *reads* sa(rvāvanto bodhisatvagaṇo bhagavantam etad avocat\*).
- (81) [a] + + .iyāḥ: Toda[1983] *reads* (agaṇanīyā).
- (82) a(c)[i] ///: Toda[1983] *reads* a(cintyā atulyāś cittabhūmisamatikrāntā bhagavāṃs te).
- (83) sarvaśrāva .. + + + + + .[ā] .. ///: Toda[1983] *reads* sarvaśrāva(kapratyekabuddhajñānasthitair api  
bhagavān āryeṇāpi jñānena na śakyam te lokadhātavo gaṇayitum vā).
- (84) ci(m)tayitu(m) /// Toda[1983] *reads* ci(m)tayitu(m) (vā upalakṣayitum vā asmākam api tāvad bhaga-  
vān avaiartikabodhisatvabhūmau sthitānām).
- (85) ///: Toda[1983] *reads* (cittagocarō na pravartate evāprameyā bhagavāṃs te lokadhātavo bhaveyur  
evāsaṃkhyeyā).
- (86) evātul. + .. ///: Toda[1983] *reads* evātulyā (evāgaṇanīyā evānupalakṣyamāṇā · evam ukto bhagavāṃs  
tān bodhisatvān mahāsatvān etad avo).
- (87) yāvantaḥ: yāvantaḥ: K, KN, yātakāḥ, O. F *lacked*. See Edgerton[1953], p.446.
- (88) yeṣu: yeṣu: K, KN, yatra: O, F.
- (89) yā sa: yeṣu ca: K, KN, yeṣu vā: B, Cb, yatra ca: O, F.

- (90) sarveṣu: sarveṣu vā: B, Cb.
- (91) saṃvidyaṃte: saṃvidyaṃte: K, KN, saṃvidyaṃti: O.
- (92) mama: mama: K, KN, <ma>yā: O. F *lacked*.
- (93) abhisambuddhasya: K, KN, F, abhisambuddhā: O.
- (94) prabhṛty a{ṃ}haṃ: prabhṛtya ahaṃ: K, prabhṛtyāhaṃ: O, prabhṛty ahaṃ: KN, pratibhyahaṃ: A, prabhṛtyaḥ: Cb. F *lacked*.
- (95) sahāyāṃ: sahāyāṃ: K, KN, sahe: O. F *lacked*.
- (96) kulaputrāntare: kulaputrā atrāntare: O, K, K, kulaputrā atrāntarā: KN.
- (97) parikīrtitāḥ: parikīrtitāḥ paridīpitāḥ: O.
- (98) dipaṃkaratathāgataprakṛtayas: dipa{ṃ}ṅkara{s}tathāgatapravṛtikā{ṃ}s: O.
- (99) parinirvāṇāya: parinirvāṇāya: K, KN, parinirvāṇāni: K, parinirvāṇā: O.
- (100) mamaitāni: mayaitāni: K, mayaiva tāni: KN, mayā etāni: O.
- (101) upāyakaūśalyadharmadeśanābhinirhāranimittāni: °nirmittāni: K, KN, (upāyakaūśalyadharmadeśanābhinirhārārtham abhinirmittā(ni): O.
- (102) tathāgatā: tathāgata: K, O, KN.
- (103) āgatānāgatānām: āgatāgatānām: K, O, KN, āgatānām, B. Cf. 往來進止 (Dh.).
- (104) tasmīṃs tasmī{ṃ}n ātmano nāma vyāharati: tāni tāny ātmano nāmāni karoti: O, vyāharati sma: A.
- (105) tasmīṃ tasmī{ṃ}n ātmanaḥ parinirvāṇaṃ vyāharati: tatra (tatra c' ātmanaḥ parinirvāṇaṃ vyā)harati: O.
- (106) paribhoṣayati: S. e. for paritoṣayati or paribhāṣayati? paritoṣayati: K, O, KN. Cf. 則為解演若干種法 (Dh.).
- (107) bahvopakleśānām: bahūpakleśānām: O, KN. bahvopakleśānām: K. See Edgerton[1953], p. 27, § 3.71.
- (108) vadati: vadati sma: A, K, W.
- (109) asmiṃ: asmi: O, KN. asmiṃ: K. Cf. 這度終始方今出家 (Dh.).
- (110) bhikṣabo: *Read* bhikṣavo.
- (111) jātyābhini(ṣkrāntaḥ): jātyā: niṣkrāntaḥ: K.
- (112) (°)smi: °smiṃ: K. Cf. 這度終始方今出家 (Dh.).
- (113) evaṃ cirābhisambuddhaḥ: eva<ṃ>cirābhisambuddho (°)nuttarāṃ samyaksaṃbodhi(ṃ): O.
- (114) satvānāṃ vinayaparipācanārtham: satvānāṃ paripācanārthāya satvānāṃ avatāraṇārthāya: O. satvānāṃ paripācanārtham a(va)tāraṇārtham: K, KN.
- (115) satvānāṃ vinayārtham: satvānāṃ vinayārthāya satvānāṃ paripācanahetor: O. satvānāṃ vinayanārthāya: K, KN.
- (116) yāṃ: yāṃ yām eva: O, yāñ: K. yāṃ: KN, B, K. yāḥ: A, W, ye: Cb.
- (117) bhāṣaty: bhā[ṣ]. +: O. bhāṣati: K. bhāṣata: KN. bhāṣate: B, K.
- (118) anyatra: atra: K, KN. kaścīd atra: O.
- (119) paramāṇa: S. e. for paramāṇu-?
- (120) kula .. + + + + + .. deśanā-abhini: Toda[1983] *reads* (putrā upāyakaūśalyadharmadeśanā-abhini.
- (121) abhinirmittā[n]i + + + + + ..: Toda[1983] *reads* abhinirmittā(ni api tu khalu punaḥ kulaputrāḥ).
- (122) satvān. + + + + + + + + + lokayitvā: Toda[1983] *reads* satvān(ām indriyabalaviryavaimātratāṃ vyava)lokeyitvā.
- (123) + + + + + + + + .. rati: Toda[1983] *reads* (tatra c' ātmanaḥ parinirvāṇaṃ vyā)hā)rati.

- (124) bhāpitāḥ: S. e. for bhāṣitāḥ.
- (125) bhā[ṣ]. + .opadarśanena: *Read* bhāṣata ātmopadarśanena?
- (126) + + + + + + + + [ra]m̄baṇena: Toda[1983] *reads* (ātmāram̄baṇena vā parā)[ra]m̄baṇena.
- (127) + + + + + + + + +: Toda[1983] *reads* (vyāharati sarve te dharmaparyāyāḥ).
- (128) ta + + + + + + + Toda[1983] *reads* ta(thāgatasya mṛṣāvādāḥ)
- (129) prativ[e]d(a)[y]. + + + + .u + + [trās] t(e)[ṣ]u ///: Toda[1983] *reads* prativeday(āmi yāttakāḥ kulaputrāḥ teṣu lokadhātuṣu pṛthivīdhātoḥ pa)-.
- (130) teṣu .. ///: Toda[1983] *reads* teṣu (lokadhātukoṭīṇayutaśata)-.
- (131) 39a=IOL SAN 515(fragment).
- (132) [t]. ///: Toda[1983] *reads* t(āvanti).
- (133) ya //: Toda[1983] *reads* ya(taḥ).
- (134) s. ā .. : *Read* satvānā ?
- (135) k[iṃ]c(i) .. ///: Toda[1983] *reads* kiṃc(it kulaputrāḥ).
- (136) 続く F (Farhād-Beg) 38b(IOL SAN515)7~8は § 4-b に相当する :  
tat kasya /// (39b8) te nopapadyate na sam ///